

令和7年度外国人留学生選抜（第2期）出題意図

科目名：日本語

約4,500字の長文を読み、文章の内容・構造、書き手の主張を正確に把握できるか、また、日本大学商学部で学修するために必要な語彙力や、文法・漢字等の知識があるかを問う問題である。

問1・問2は漢字の知識を問うている。問1は選択肢から適切な漢字が選べるかを問う問題、問2は漢字の適切な読みを選択肢から選ばせる問題である。

問3の文法問題では、助動詞「れる」の用法を理解しているか、また「れる」が有する複数の用法の弁別ができるかを問うている。

問4・問9・問12・問14は読解力を問う問題である。文章中の特定の箇所（一文や語句）について、筆者がそのように書いている理由を、当該箇所の前後や文章全体から把握できるかが問われている。

問5・問6・問7・問10・問11・問13・問15は語彙力を問う問題である。「どうして」「きわめて」といった副詞、「～ざるを得ない」「～かねない」「やむを得ない」「宙づり状態」といった連語、「曲者」のような名詞について、その意味を理解しているかを問うている。「どうして」「宙づり状態」「曲者」に関しては、これらの語が使用されている当該文脈における意味を適切に把握できるかが問われている。

問8・問16は、作問者が文章中に設けた空白部について、そこに当てはまる語・文を選択肢から選ばせる問題である。空白部の前後関係を適切に把握できているか、空白部に前接する表現と合う語を選択できるか、といったことや「度肝を抜かれる」のような慣用句の知識を有しているかを問うている。

問17では、文章の主旨が正確に理解できているかが問われている。文章全体を丁寧に読んでいるかを確認するための問題である。